

インフルエンザ(2025 年第 51 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 51 週の定点当たり報告数は 32.73(患者報告数 126,127)となり、前週の定点当たり報告数 36.96 よりも減少した。都道府県別では宮崎県(94.75)、鹿児島県(76.54)、福岡県(63.69)、佐賀県(57.67)、長崎県(56.69)、高知県(54.92)、香川県(54.43)、徳島県(53.18)、島根県(52.95)、熊本県(52.72)、岡山県(52.36)、大分県(51.84)の順となった。全国 47 都道府県中、4 都道府県では前週の報告数よりも増加し、43 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,895 例であり、前週(1,899 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(91 例)、1～4 歳(285 例)、5～9 歳(203 例)、10 代(122 例)、20 代(45 例)、30 代(34 例)、40 代(26 例)、50 代(65 例)、60 代(141 例)、70 代(323 例)、80 歳以上(560 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 47 週～2025 年第 51 週)では、AH3 亜型が 506 件(95%)、B 型が 21 件(4%)、AH1pdm09 が 4 件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。